

## 3 人材育成活動

## □ 産業振興分野

### 地場産業再生 MOT フォーラム

第3回となる地場産業再生 MOT フォーラムを2013年2月27日に大津プリンスホテルにて開催した。このフォーラムは伝統産業の再生に焦点を絞り、新商品開発への挑戦事例とMOT(技術経営)をベースにした取り組み事例を紹介し、活発な質疑応答を通じて地場産業再生人材の育成をねらいとするものである。

「漆の文化史」で著名な石川県輪島漆芸美術館館長であり、漆器文化財科学研究所所長である四柳嘉章氏に「知られざる漆芸の歴史と未来」と題して特別講演をいただいた。科学によって伝統工芸の深堀を行うとともに、伝統工芸をいかに次代に繋げてゆくか、伝統工芸ブランド先進地域「輪島」の施策、取り組みを紹介いただき、その後の活発な質疑応答を引き出していただいた。続いて本センターの山本卓特任教授から、伝統工芸間の融合で新概念商品の創出を促進するための「融合発想法」の説明と、その実践の場として「新融合イン滋賀」研究会の活動紹介がなされた。そのあと、滋賀県の地場産業と伝統工芸の挑戦事例として、(株)小川代表取締役の小川一郎氏より「仏壇の挑戦」、丸滋製陶株式会社 代表取締役 今井智一氏より「信楽焼の挑戦」、有限会社藤三郎紐 四代目藤三郎太田耕吉氏より「組紐の挑戦」のテーマでご講演いただいた。また、滋賀大学社会連携研究センター 近兼敏客員研究員から「伝統産業の生き残り戦略」で海外展開に重点を置いた取り組み・支援活動について講演があった。とくに伝統産業の担い手による挑戦事例の講演は各分野での取り組みがよくわかり、約70名の参加者の方々との活発な質疑応答が展開、充実したMOTフォーラムとなった。最後に山本卓特任教授より、新融合研究会への参加呼びかけと、次回フォーラムは開発成果の展示会との同時開催とするとの計画紹介があった。(文責 特任教授 山本 卓)



【四柳 嘉章氏】



【山本 卓氏】



【小川 一郎氏】



【今井 智一氏】



【太田 耕吉氏】



【近兼 敏氏】



【会場風景】



2012年度 滋賀大学 社会連携研究センター MOTプログラム

# 第3回 地場産業再生 MOTフォーラム

伝統産業の活性化をねらいとした、新商品開発への挑戦事例とMOT(技術経営)をベースにした取り組み事例を紹介します。また、「漆の文化史」で著名な四柳嘉章氏に特別講演いただきます。

**日時・場所** 2013年 **2月27日** 水

**13:00~17:00** (12:30開場)  
**会場:**大津プリンスホテル 伊吹(2F) (JR大津駅から無料シャトル/バスで10分)  
**定員:**60名/参加料:無料(先着順)

---

**〈プログラム I〉 特別講演**  
 司会:滋賀大学 社会連携研究センター 特任教授 山本 卓

13:00~ **開会の挨拶**  
 滋賀大学 社会連携研究センター長 野本 明成

13:10~ **特別講演「知られざる漆芸の歴史と未来」**  
 石川県輪島漆芸美術館 館長  
 漆器文化財科学研究所 所長 四柳 嘉章

14:40~ (コーヒーブレイク)

**〈プログラム II〉 一般講演**  
 司会:滋賀大学 社会連携研究センター 特任教授 若林 忠彦

15:00~ **講演「伝統工芸の新融合」**  
 滋賀大学 社会連携研究センター 特任教授 山本 卓

15:30~ **講演「仏壇の挑戦」**  
 株式会社 小川 代表取締役 小川 一郎

15:50~ **講演「信楽焼の挑戦」**  
 丸滋製陶 株式会社 代表取締役 今井 智一

16:10~ **講演「組紐の挑戦」**  
 有限会社 藤三郎組 四代目藤三郎 太田 耕吉

16:30~ **講演「伝統産業の生き残り戦略」**  
 滋賀大学 社会連携研究センター 客員研究員 近兼 敏

16:50~ **閉会の挨拶**  
 滋賀大学 社会連携研究センター 特任教授 山本 卓

主催:滋賀大学 共催:(公財)滋賀県産業支援プラザ 後援:滋賀県、近江八幡商工会議所、彦根商工会議所、長浜商工会議所、(一社)滋賀経済産業協会

お申込みは  
 mail、TEL、FAX(裏面)  
 のいずれかどうぞ。



滋賀大学 社会連携研究センター

E-mail jrc@biwako.shiga-u.ac.jp  
 TEL 0749-27-1141  
 FAX 0749-27-1431

(申込事項:お名前・所属・所属住所・電話番号・E-mail)